

身につく読書

任せる技術

小倉広・著

「任せる」ことはとても難しい。何をやってほしいかを簡潔にまとめる必要があるし、

指示したり指導したりするには手間もかかる。また、任せた相手が失敗したら、その尻ぬぐいもしなければならぬ。結局は、自分でやったほうが早いし、確実だ。

だが、それでは、いつまでたっても自分の時間をつくれぬ。新

しい仕事に挑戦する時間は永久に奪われ、目先の仕事に追われることになる。また、部下や後輩も、大きな仕事にチャレンジできず、なかなか成長しないだろう。

そうした、任せることに悩む管理職やその予備軍向けに、上手な任せ方を説いたのが本書だ。特に初めて部下を持った人には、これまで経験したことのない領域であり、なかには「任せるのが怖い」という人もいるだろう。

実践に役立つノウハウ

任せるということは、なにも、ほったらかしにすることではない。定期的にチェックする仕組みをつくる、作業だけでなく責任も任せる、ときにはガマンして手を貸さないなど、著者の体験もふんだんに紹介しながら、任せることへのハードルを低くしていく。

上手に権限を委譲することができれば、部下はやる気を持って仕事に臨めるし、上司はもうひとつ上のレベルの仕事にも安心してとりかかれる。いまずぐにでも実践したいノウハウが満載の一冊。(日本経済新聞出版社、1470円)

